

令和元年度 学校関係者評価報告書

学校法人 北都健勝学園
新潟看護医療専門学校村上校
学校関係者評価委員会

「平成 30 年度自己評価報告書」をもとに、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会出席者

<委員長>

- ・柴田百合子 村上総合病院 看護部長

<委員>

- ・鈴木沙織 村上総合病院 看護師（新潟看護医療専門学校村上校同窓会穂波会会長）
- ・小田純子 黒川病院 看護師（新潟看護医療専門学校村上校同窓会穂波会副会長）
- ・板垣正志 八日市区長

<事務局>

- ・佐藤英昭（学校長補佐）
- ・安藤とよ子（副校長）
- ・加藤美由紀（事務局長代理）

2. 学校関係者評価委員会の開催

- ① 日時：令和 2 年 2 月 25 日（火曜日）9：55～10：55
- ② 場所：新潟看護医療専門学校村上校会議室

3. 学校関係者評価期間

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

4. 学校関係者評価

<評価領域ごとの学校関係者評価>

評価基準：3：よい 2：普通 1：不十分

※自己評価：学校教職員による評価

領域	主な内容	自己評価	学校関係者評価
I.学校経営	学校の組織運営、組織目標について	2.2	2.3
II.教育課程・教育活動	教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等	2.2	2.3

III.入学・卒業対策	入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援	2.0	2.2
IV.学生生活への支援	就職や進学への支援、経済的支援、健康管理	2.1	1.8
V.管理運営財政	個人情報管理、災害への備え等	2.1	2.2
VI.施設・設備	学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮	2.5	2.5
VII.教職員の育成	研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等	1.8	2.1
VIII.広報	広報	2.2	2.5
IX.地域との連携	地域との連絡	2.0	1.7

<学校関係者評価委員 意見> ※A：学校側からの回答

・学生の支援の中の卒業生への支援について、就職先の病院でも新人研修を行っているが、学校側でもぜひ行っていただきたい。

A：教員や卒業生同志の情報交換をする場を設定し、状況把握・支援をする予定である。

・卒業生の窓口となる教員がいると学生は学校と連絡がとりやすいのではないかと考えるが、

A：教員はほとんど実習指導で不在となっており、窓口となる教員はいないのが現状であるが、今後は検討していきたい。

・病院は多職種の現場であり、患者様への対応など知識だけではなく、人との関わり、コミュニケーション力が大切となってくるため、指導をお願いしたい。

A：年々コミュニケーション力に問題のある学生が増加しており、学校としては個別に指導を行っている。

・教職員の育成についての自己評価が低い。教員も新しい知識の更新は学内だけではなく、外部に行かないと難しいのではないかと考えるが、研修などはどうなっているか。

A：研修費があり、年2回は研修へ参加するようにしている。

<総評>

上記9領域に対し、委員による評価を行った。

今回初めての実施となるが、今後とも継続的に調査、評価を行い、学校運営の質の向上に寄与していく。

平成29年度に完成年度を迎え、平成30年度に2回生が卒業している。卒業生への支援も積極的に行い、地域医療に貢献できる人材の育成に尽力していただきたい。

以上